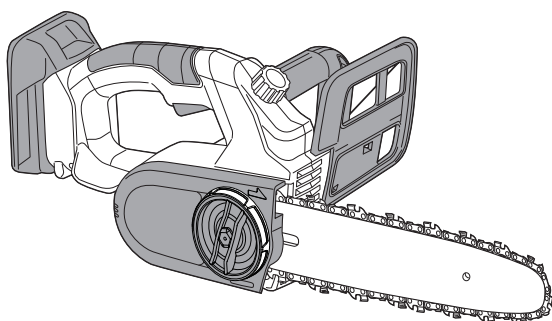


充電式チェーンソー

BCS-1800L1

BCS-1800（本体のみ仕様）



※ BCS-1800（本体のみ仕様）
には充電器・電池パックは付
属していません。



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

このたびは、本製品をお買い上げいただき
ありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までよく
お読みいただき、使用上の注意事項、本機
の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、
正しく安全にご使用くださるようお願いい
たします。また、この取扱説明書は大切に
お手元に保管してください。

取扱説明書

保証書付

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
充電式チェーンソーご使用に際して	10
騒音について	14
業務でチェーンソーを 使用する場合のご注意	14
梱包明細	15
各部の名称	15
仕様	16
用途	16
別販売品	17
組立	18
充電について	20
充電方法	
電池パック・充電器について	
電池パックの保管/電池寿命について	
ご使用前の準備	23
作業する場所に関して/チェーンオイルの給油	
ご使用前の点検	24
スイッチ操作/ソーチェーンの張り具合	
チェーンオイル/電池パックの取付け、取外し	
オイルの吐出	
ソーチェーンの張り調整	26
スイッチの扱い方	27
チェーンオイルについて	28
切断作業	29
切り方の基本/枝落とし/	
枝払い作業/伐木作業	
本体が動かなくなったときには	34
ソーチェーンの目立て	35
ソーチェーンの交換	36
各部取付けネジの点検	39
使用後の手入れ	39
作業後の保管	40
修理について	40
故障かなと思ったら	41
保証書	裏表紙

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△ 危険」と「△ 警告」と「△ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■危険表示・警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危 険	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 警 告	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 注 意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△ 危険」・「△ 警告」・「△ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		感電注意	回転部注意	

⚠ 危 険

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。



禁止

電池パックは火への投入、加熱をしないでください。



禁止

電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。



禁止

電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。

・電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
・電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。



禁止

電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

・発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを水のような導電体に浸さないでください。また、電池パックの内部に水のような導電体を浸入させないでください。

・発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを電源コンセントや、車のシガーソケットなどに直接接続しないでください。

・高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。

・指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが破損したり、発熱、破裂、発火の原因になります。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準 備

使 い 方

保 守 と 点 検

安全上のご注意

⚠ 警 告

作業場の環境について



水ぬれ禁止

作業場の周囲状況も考慮してください。

・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。



必ず守る

・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、けがのおそれがあります。



禁止

・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。

作業者に关する安全事項



必ず守る

不意な始動は避けてください。

・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・ 電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。



感電注意

感電に注意してください。

・ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。



必ず守る

保護めがねを使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。
また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



必ず守る

防音保護具を着用してください。

・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。



必ず守る

加工するものをしっかりと固定してください。

・ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

⚠ 警 告

工具の使用と手入れ



必ず守る

次の場合は充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。



禁止

指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

正しく充電してください。

- ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。



必ず守る

- ・ 周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。



電源プラグを抜く

- ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。

- ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。



必ず守る

電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。

- ・ 失明のおそれがあります。



禁止

使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。



禁止

電池パックを電子レンジに入れないでください。

- ・ 急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準
備

使
い
方

保
守
と
点
検

安全上のご注意

⚠ 警 告

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

ご使用済の電池パックは、一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。

- ・ 棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。



禁止

電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気が付いたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。

- ・ そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。



必ず守る

電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。

- ・ 漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注 意

作業場の環境について



必ず守る

作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。



禁止

子供を近づけないでください。

- ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⚠ 注 意

電気に関する安全事項



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

作業者に 関する 安全事項



必ず守る

無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。



必ず守る

油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。



禁止

- ・疲れている場合は、使用しないでください。



必ず守る

十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。

- ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。



禁止

アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。



禁止

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

⚠ 注 意

作業 者 に 関 する 安 全 事 項



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



禁止

きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



必ず守る



禁止

作業に合った充電工具を使用してください。

- ・小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。



必ず守る

調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

工 具 の 使 用 と 手 入 れ



必ず守る

損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。



よく読む



禁止

⚠ 注 意

工具の使用と手入れ



必ず守る

使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
- ・充電工具や電池パックを、温度が45℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。



禁止



必ず守る

充電工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。



よく読む



点検・確認

電池パック・充電器に関する安全事項



必ず守る

電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

- ・皮膚がかぶれたりするおそれがあります。



必ず守る

電池パックは出荷前に若干量の充電をしていますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。



必ず守る

電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。

- ・充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。



禁止

電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。

- ・保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

⚠ 注 意

修理
と
メン
テナ
ンス



分解禁止



必ず守る



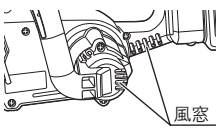
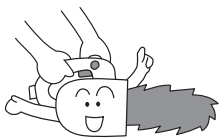
禁止

充電工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・ サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。
- ・ 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・ この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

充電式チェーンソーご使用に際して

- 先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式チェーンソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

 警 告	
作業の前に	 作業する箇所に電線などがないことを作業前に確認してください。 ・電線などがあると、ソーチェンが触れ、感電のおそれがあり、事故の原因になります。 点検・確認
	 風窓部に木屑などが詰まっていないことを確認してください。 ・木屑などが詰まっていると故障の原因になりますので清掃をしてください。  必ず守る
安全作業のため	 チェーンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり放置しないでください。 ・感電のおそれがあります。 必ず守る
	 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。 ・本体がはね返り、けがの原因になります。  必ず守る
	 はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。また、肩の高さより高い位置で使用しないでください。 ・けがの原因になります。 禁止
	 高所（高さが2 mを超える箇所）で作業を行なうときは、高所作業用の機器を使用して安定した足場を確保し、安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかり固定してください。 ・けがや事故の原因になります。 禁止
	 高所作業時は、両手で前後ハンドルを正しく握り、肘を軽く曲げて作業をしてください。片手持ち作業、腕を伸ばしての作業は行なわないでください。 作業範囲は作業者の肩から腰の高さとし、それ以外では作業を行なわないでください。 ・けがの原因になります。 禁止

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

⚠ 警 告

安全作業のため



禁止

使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。

・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。



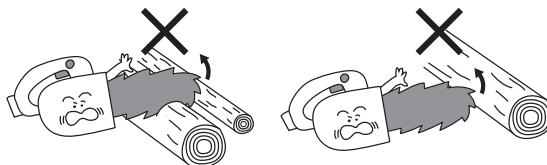
禁止

ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。

・本体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。



必ず守る



必ず守る

使用中は、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。

・けがの原因になります。



回転部注意



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

・そのまま使用していると、けがの原因になります。



点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・発火したり、異常作動してけがの原因になります。



必ず守る

（事業者の方へ）樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行なう場合は法、規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令 労働安全衛生法

安全衛生特別教育規程

労働安全衛生規則

第 59 条第 3 項

第 10 条

第 36 条第 8 号

警告

電池パック・充電器に関して



禁止

電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。

- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- ・ 雨や水にぬらさないでください。



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。

- ・ 爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。



禁止

充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。



禁止

充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

注意

作業の前に



よく読む

工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

- ・ 誤った取付け方をすると、ガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

⚠ 注 意

安全作業の
ために



必ず守る

保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- ・ そで口をきちんと閉めた作業服、チェーンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）を着用。
- ・ ヘルメットまたは規格に適合した帽子を着用。
- ・ 足元保護のために滑りにくい安全靴。
- ・ 保護めがねまたはフェイスガード。
- ・ 巻込まれにくい防振性の高い手袋。耳栓、イヤマフなどの防音保護具着用。



必ず守る

使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、ソーチェンがむき出しにならないようにして、子どもの手の届かない所に保管してください。

- ・ けがの原因になります。



点検・確認

スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。

- ・ 本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。



点検・確認

材料に石、釘などの異物が入っていないことを確認してください。

- ・ ソーチェンが石などに当たると、けがの原因になります。



切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。

- ・ けがの原因になります。



必ず守る

切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

- ・ ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。



禁止

本体を作動させたまま地面、床などに放置しないでください。

- ・ けがの原因になります。



必ず守る

作業中は、風窓を地面に近づけないでください。また、スイッチを切った後はソーチェンが完全に止まってから地面に置いてください。

- ・ 風窓から砂などを吸込んで故障の原因になります。

！ 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

業務でチェーンソーを使用する場合のご注意

2019年8月1日以降、チェーンソーを使用して伐木作業などをする場合、チェーンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）の着用が義務付けられています。

- ・ 業種にかかわらず、チェーンソーを使用して伐木作業などを行なう場合は対象となります。
- ・ チェーンソー用下肢防護衣は、JIS T8125-2 または同等の規格に適合したものを着用ください。
- * 詳細は、厚生労働省から 2019 年 2 月 14 日に公布された文書（基発 0214 第 9 号）をインターネットで検索し、ご覧ください。

業務ではなく個人で使用する場合は、チェーンソー用下肢防護衣の着用は義務付けられていませんが、安全に作業するため、着用をお勧めいたします。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



Li-ion

リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっていますので、不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店または当社営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

！ 注 意



必ず守る

不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分の短絡により発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

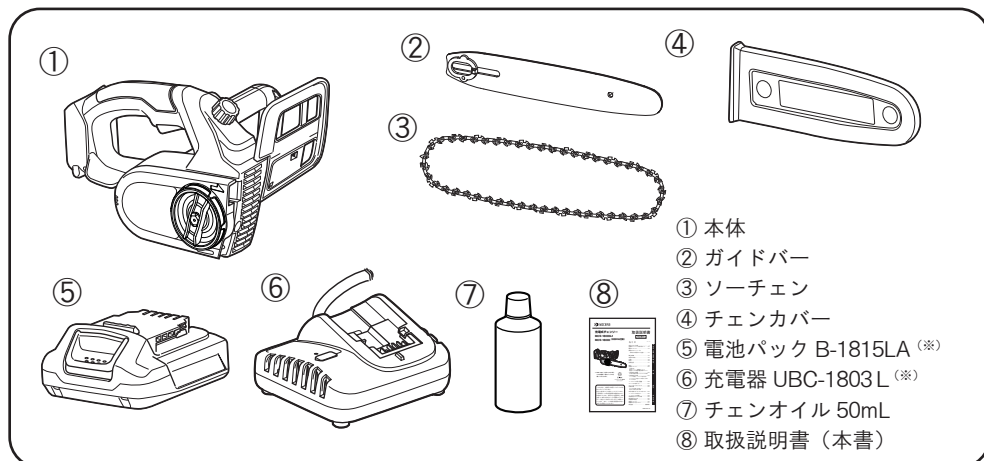
準備

使い方

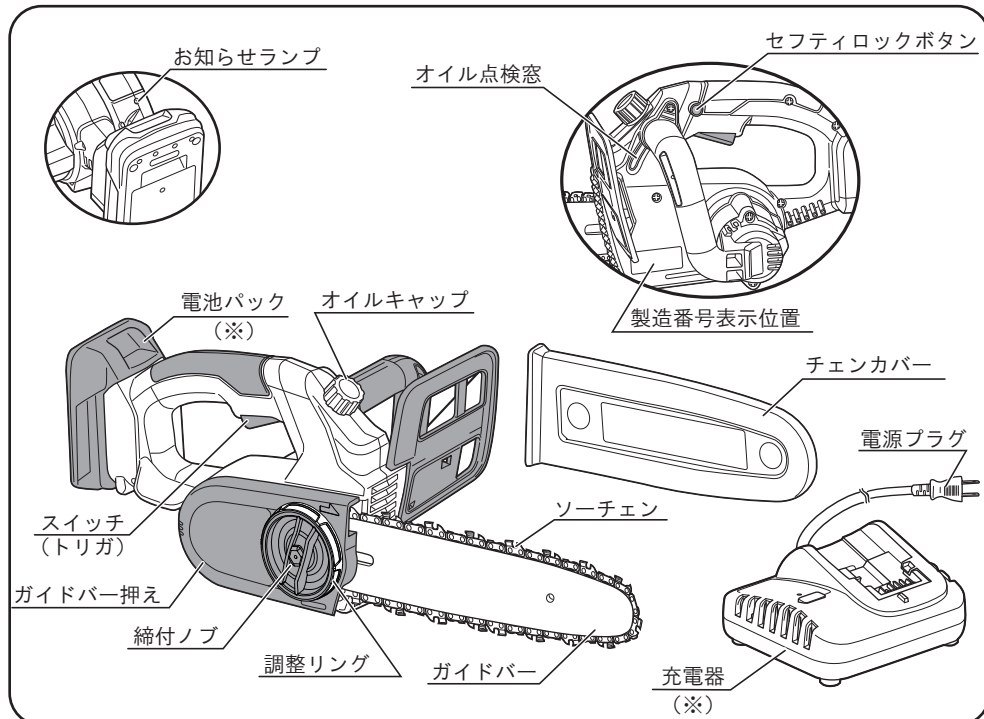
保守と点検

梱包明細・名称

■ 梱包明細



■ 各部の名称



仕様・用途

■仕様

●本体

- ・チェンスピード…………… 3.5m/s
- ・有効切断長さ…………… 250mm
- ・推奨切断長さ(※1) …… 150mm以下
- ・ソーチェン…………… 90PX-40E(ピッチ 3/8")
- ・電源…………… DC 18V(リチウムイオン)
- ・本体寸法(※2)(長さ×幅×高さ) …… 517×206×182mm
- ・質量(※2) …… 2.3kg
- ・振動 3軸合成値(※3) …… 2.5 m/s²以下
EN60745-2-13に基づき測定

(※1) 推奨長さを超えた材料を切断すると、過負荷により頻繁に保護回路が作動することがあります。(保護回路については 34 ページ参照)

(※2) ガイドバー、ソーチェン、電池パック(B-1815LA) 取付時の値です。

(※3) 『3 軸合成値の取扱い』については、日本電機工業会のウェブサイトで紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>

●電池パック(B-1815LA)

- ・電圧…………… DC18V(※4)
- ・電池…………… リチウムイオン電池
- ・容量…………… 1,500mAh
- ・質量…………… 0.35kg

(※4) 18V 電池パックには、ラベルの電圧表示が異なる電池パックがありますが、同等の性能であり問題なくご使用になれます。

(※5) 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

●充電器(UBC-1803L)

- ・電源…………… AC 100V 50/60Hz
- ・定格出力電圧…………… DC 10.8 - 18V
- ・充電時間…………… 69分(※5)
- ・質量…………… 0.31kg

●1 充電あたりの作業量(目安)(周囲温度 20℃)

※ 表中の数値は満充電にしたときの参考値です。
電池パックの電池容量および、材質、ソーチェンの切れ味、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。

(1,500mAh 電池パック使用時)

材 料	切断量
米松(角) 40mm×40mm	約 110 本

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

■用途

- ・枝打ち、木材の切断、丸太の切断



竹、細い木、柔らかい立木などは切れない、または切れにくい場合があります。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

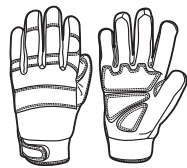
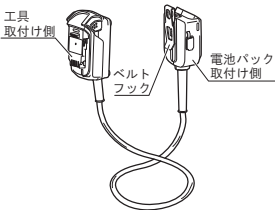
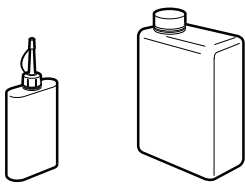
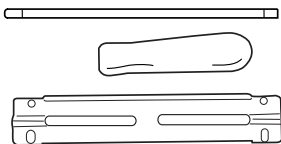
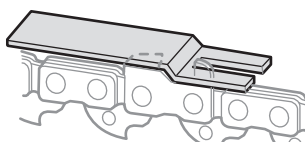
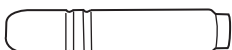
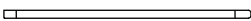
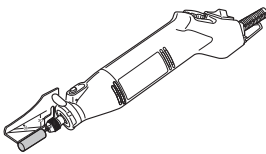
準備

使い方

保守と点検

別販売品

■別販売品

電池パック・充電器 22 ページ『●電池パック・充電器について』参照	チャップス  業務でチェンソーを使用する場合はチェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）の着用が義務付けられています。	グローブ 
電池パックアダプター BA-180A 電池パックを充電工具本体でなく、ベルトなどに取付けることができます。本体の質量が軽くなるため、作業時の疲労が軽減します。 ご使用の際は、電池パックアダプターに同梱されている取扱説明書をよくお読みください。	 工具取付け側 ベルトフック 電池パック取付け側	チェンオイル  100mL 1000mL
ヤスリホルダーセット (丸ヤスリ 150x4mm、ヤスリ柄、ヤスリホルダー)  ソーチェン目立専用のヤスリです。	デプスゲージジョインター  ソーチェンの目立てをするとき、デプスゲージの調整に使用します。	
ヤスリ柄 (丸ヤスリ用) (丸ヤスリ 4mm、4.5mm 共用) 	丸ヤスリ[※] (150 × 4.5mm) (150 × 4mm) 	平ヤスリ  ソーチェン目立専用のヤスリです。
チェンソーシャープナー  ソーチェンの目立てが簡単にできます。	 ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。 別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。 ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。 <電子カタログ> https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/ 	

17 ※ ソーチェンメーカーの推奨は、丸ヤスリ 4.5mm ですが 4mm を使用しても問題ありません。

準備

■組立

⚠ 警告



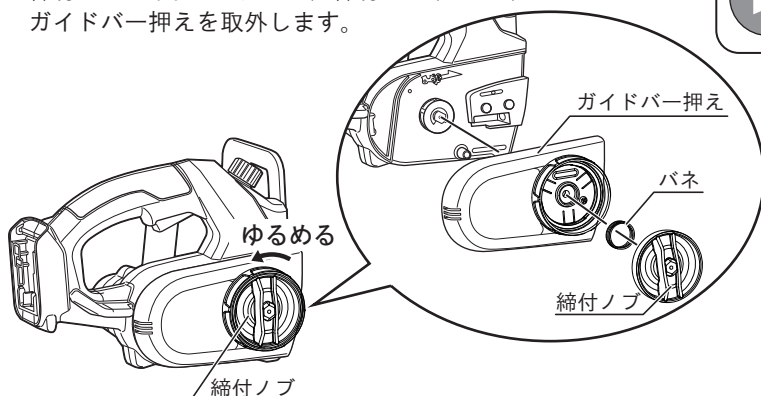
必ず守る

- ・組立前に電源スイッチが切れていること、本体から電池パックが取外してあることを確認してください。
- ・ソーチェンの取付けのときは、必ず手袋をはめて行なってください。けがの原因になります。

※ 工場出荷時は、ガイドバー、ソーチェンは取外しています。
はじめて使用するときは、以下の要領で取付けてください。

●ガイドバー、ソーチェンの取付け

1. ガイドバー押えを取外します。
締付ノブを回してゆるめ、締付ノブ、バネ、ガイドバー押えを取外します。



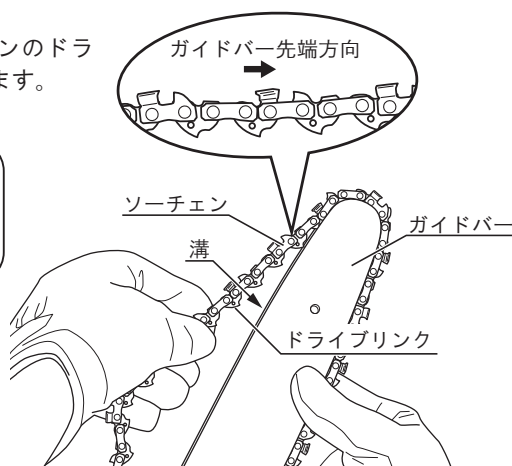
動画でチェック!!



2. ガイドバーの溝にそって、ソーチェンのドライリンクをガイドバーにはめ込みます。



ソーチェンの刃の向きに
注意してください。
逆に付けると切断できません。



安全上のご注意

主要機能・名称・用途

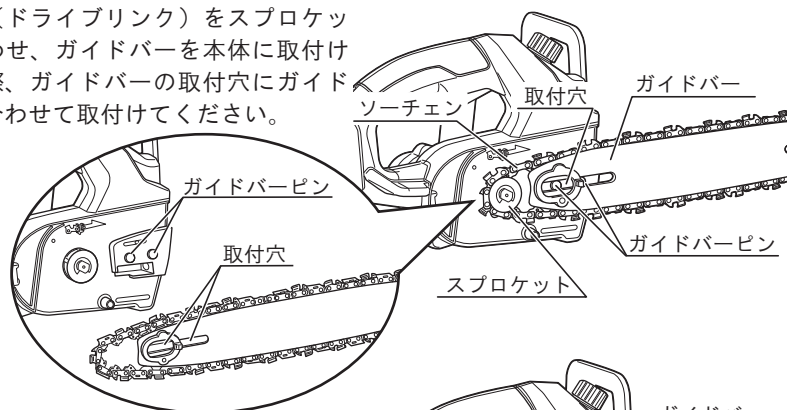
準備

使い方

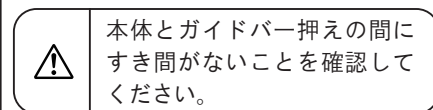
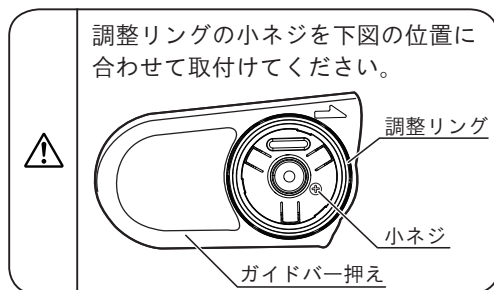
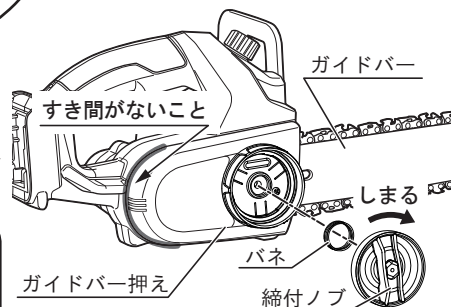
保守と点検

準備

3. ソーチェン（ドライプリング）をスプロケットにかみ合わせ、ガイドバーを本体に取付けます。その際、ガイドバーの取付穴にガイドバーピンを合わせて取付けてください。

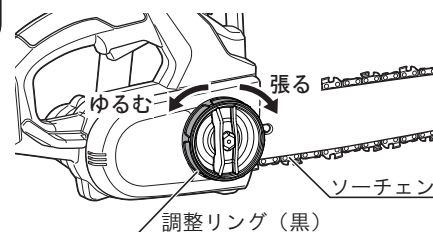


4. ガイドバーを押えた状態でガイドバー押えを取付け、締付ノブ（バネ）で軽く締付けてください。（ガイドバーがガイドバーピンから外れず、軽く動く程度）

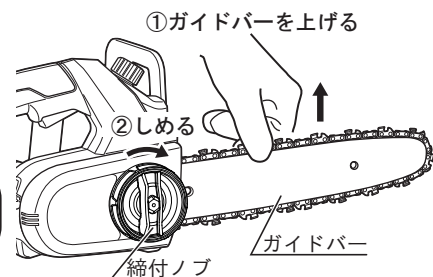
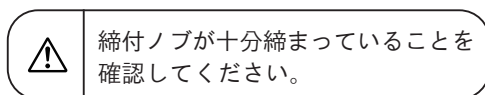


5. ソーチェンの張り調整をします。
調整リングを回して調整してください。

調整方法は 26 ～ 27 ページ『■ソーチェンの張り調整』を参照ください。



6. ソーチェンの張り調整が終わりましたら、ガイドバーを上を持ち上げながら、締付ノブを十分締付けてください。



■ 充電について

⚠ 危険



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

- ・ 改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

- ・ 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

⚠ 警告



禁止

正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災のおそれがあります。
- ・ 周囲の温度が 0℃ 以下、または周囲の温度が 40℃ 以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。



必ず守る

- ・ 電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。



電源プラグ
を抜く

- ・ 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。

- ・ 爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

準備

⚠ 注意



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

●充電方法

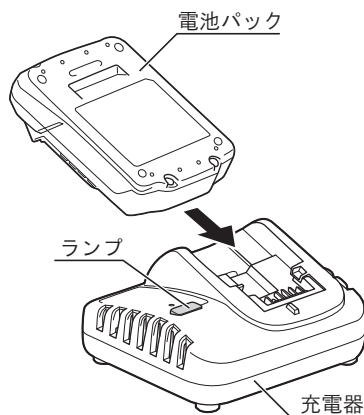
- ・充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。充電状態は充電器のランプで表示しています。(22 ページ 表 1 参照)

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
2. 電池パックを充電器にさし込みます。



電池パックを奥まで確実にさし込んでください。充電できない場合があります。

3. 充電が完了したら電池パックをスライドして充電器から取り出します。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・リチウムイオン電池は、電池パックの温度が 0℃～40℃の間で充電できます。
- ・充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

充電器（UBC-1803L）ランプ表示

表 1

表示モード	ランプの表示		表示内容
充電前	緑	点 滅 	充電器をコンセントにさし込んだ状態。
充電中	赤	点 灯 	充電している状態。
保護充電中	赤	点 滅 	電池保護のための初期充電状態。※
充電完了	緑	点 灯 	充電が完了した状態。
温度待機	緑	短点滅 	電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	緑・赤	短点滅 (交互) 	充電できない状態。 以下の原因が考えられます。 ・電池パックのさし込みが不十分。 ・電池寿命または電池パック、充電器の故障。

※ 購入後、初めての使用時や、長期保管後の電池パックは、“保護充電中”になる場合があります。
保護充電が終了すると、自動で“充電中”に切り替わります。

●電池パック・充電器について

- ・本機に使用可能な電池パックおよび充電器で充電する場合の充電時間は表 2 の通りです。お手持ちの電池パック、充電器をご使用の場合、または購入される際は、表 2 をご確認ください。

表 2

充電器 \ 電池パック		リチウムイオン電池			
		B-1815LA 1,500 mAh	B-1850LA 5,000 mAh	B-1860LA 6,000 mAh	DB3625L ※4 2,500 mAh (36V) 5,000 mAh (18V)
充電時間※1	UBC-1803L ※2	69 分	250 分	262 分	250 分
	UBC-1802L ※2	25 分	84 分	91 分	84 分
	BC-1800L	80%充電 ※3 (実用充電)	18 分	25 分	31 分
		満充電	24 分	37 分	47 分
	UBC1804L	80%充電 ※3 (実用充電)	16 分	46 分	60 分
		満充電	21 分	54 分	67 分

※1 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

※2 充電器 UBC-1803L (付属品), UBC-1802L は、満充電時の時間です。

※3 80%充電 (実用充電) は、満充電の 80%の充電状態です。

※4  (デュアルパワーボルト) の電池パックです。

工具本体により自動で 36V 2,500Ah / 18V 5,000Ah に切り替わります。

付属品以外の電池パック、充電器をご使用の場合は、各商品の説明書などをご確認ください。

準備

●電池パックの保管について

⚠ 注意



必ず守る

- ・ 電池容量が少ない状態で放置しないで充電してください。
お知らせランプが点滅する場合は、充電してから保管してください。
- ・ 満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合は、満充電にして保管してください。
- ・ 電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管してください。

●電池寿命について

- ・ 正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命とお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

■ご使用前の準備

●作業する場所に関して

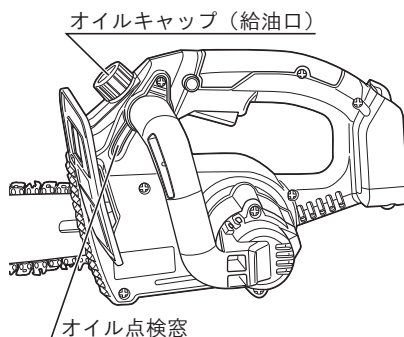
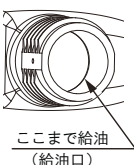
- ・ 作業場所および作業周辺の状況を確認し、事故や故障の原因になるものがある場合は、取り除いてください。

●チェンオイルの給油

- ・ 本機は検査後、チェンオイルを抜いて出荷しています。ご使用前に必ず、オイルキャップを取外し、オイルタンクに付属のチェンオイルを入れてください。



オイルタンクの容量は約42mLです。チェンオイルの入れすぎに注意してください。給油口から溢れ出てしまいます。



(28 ページ『■チェンオイルについて』参照)

■ ご使用前の点検

⚠ 警 告

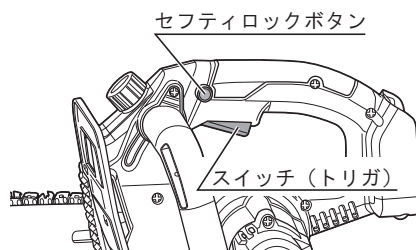


必ず守る

- ・ ご使用前に次のことを確認してください。
 - ①～③項については、電池パックを外した状態で確認してください。
 - ・ ソーチェンの張りを確認するときは、必ず手袋をはめて行なってください。けがの原因になります。

① スイッチ操作

- ・ スイッチはセフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入り、トリガを放すと切れます。トリガを放したときに、トリガが戻ることを必ず確認してください。

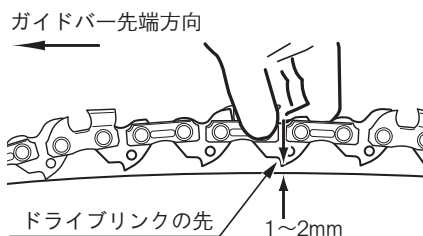


② ソーチェンの張り具合

- ・ ソーチェンが適切に張られていないと、ソーチェンやガイドバーを傷め、故障の原因になります。

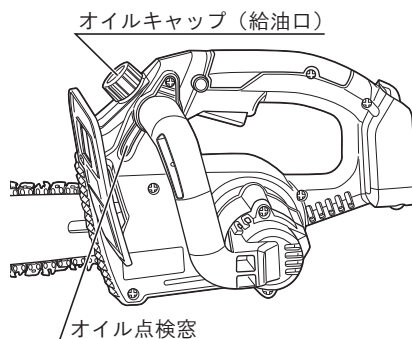
確認方法はガイドバーの中ほどでソーチェンを軽く指で引上げ（本体が浮かない程度）、ドライプリングの先がガイドバーから1～2mm 離れる程度が最適です。

調整が必要な場合は、26～27ページ『■ソーチェンの張り調整』の要領で行なってください。



③ チェンオイル

- ・ オイル点検窓にてオイルタンク内のチェンオイルの量を確認してください。チェンオイルの補充は、給油口のオイルキャップを取外して行なってください。（28ページ『■チェンオイルについて』参照）



安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

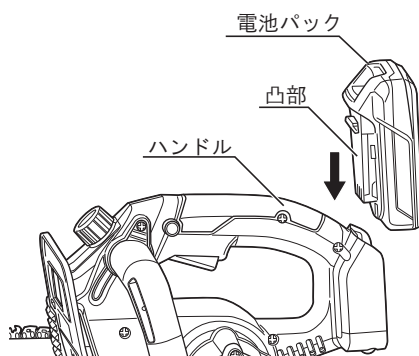
使い方

保守と点検

準備

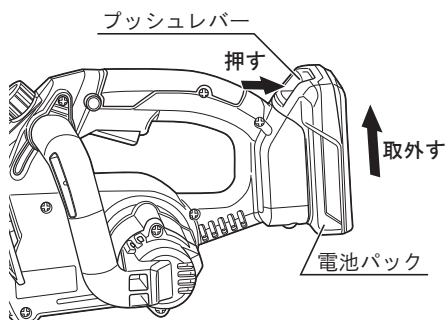
④ 電池パックの取付け、取外し (取付け)

- ・ 本体のハンドル内側の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、確実にさし込んでください。



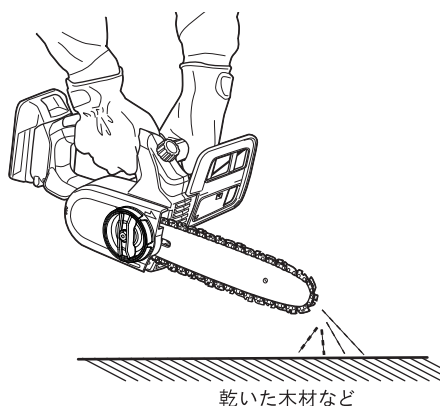
(取外し)

- ・ プッシュレバーを押さえて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。



⑤ オイルの吐出

- ・ スイッチを入れるとソーチェーン、ガイドバーに自動的にチェーンオイルが給油されます。
- ・ 2～3分回転させてもオイルが出ない場合には、オイルの吐出口回りに切粉がたまっていないか確認してください。
- ・ (確認方法：37 ページ『ソーチェーンの取外し』参照)



使い方

■ソーチェンの張り調整

⚠ 警告



必ず守る

ソーチェンの張り調整のときは、スイッチを切り、本体から電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

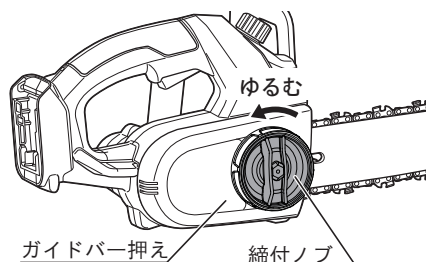
⚠ 注意



必ず守る

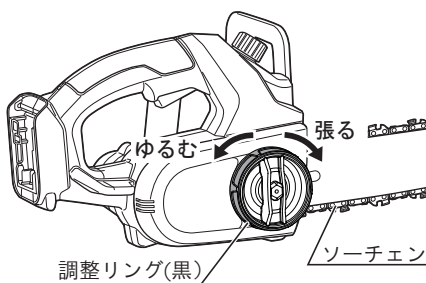
ソーチェンの調整のときは、必ず手袋をはめて行なってください。けがの原因になります。

1. 締付ノブを 1.5 ～ 2 回転程度、矢印（ゆるむ）方向に回してゆるめます。



2. 調整リングを回してソーチェンの張り調整を行ないます。

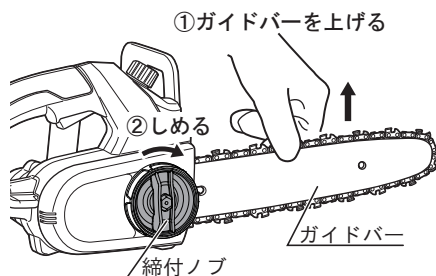
- ・ソーチェンの張りをゆるめてから、調整リングを張る方向に回して調整してください。
- ・張り過ぎたときは、一度ゆるめてから再度調整してください。ゆるめるときは、ソーチェンを軽く引上げながらゆるめてください。



3. ガイドバーを上にはたき上げながら、締付ノブを十分締付けてください。



調整後は、ガイドバーが確実に固定されていることを確認してください。



安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

使い方

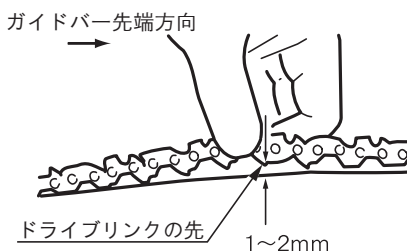


必ず守る

適切なソーチェンの張り具合について

- ・ 締付ノブを締付けると、ソーチェンガイドバー先端方向の張りが強くなりますので、締付ノブを締付けた後、次のような状態になるように調整してください。

ガイドバーの中ほどで、ソーチェンを軽く指でつまんで本体が浮かない程度に引上げてください。このとき、ドライ布林クの先からガイドバーまでが1～2mm離れていれば適切な状態です。



- ・ 新品のソーチェンは多少の伸びがあります。少し使用した後に、再度点検を行なってください。その際は、必ず電池パックを取外して調整を行なってください。再調整の必要がある場合は、前述の要領でソーチェンの張りを調整します。

■スイッチの扱い方



警告



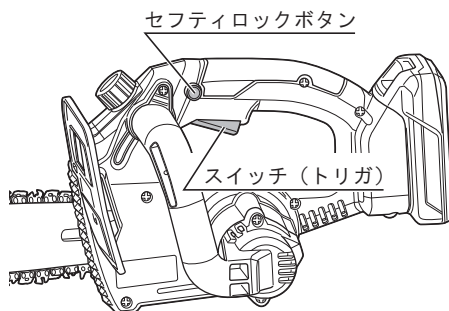
必ず守る

- ・ トリガに指を掛けて運ばないでください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・ セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

- ・ 本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・ スイッチは、セフティロックボタンを押した状態でトリガを引くと入ります。トリガから指を放すと切れます。

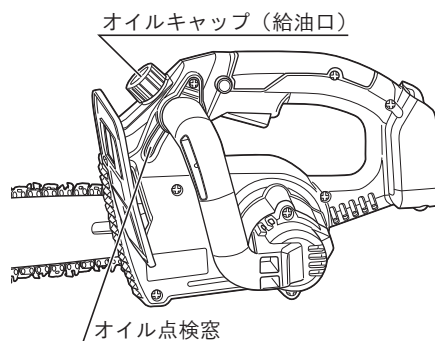


スイッチを切った直後に再度スイッチを入れると、保護回路が働き、本体が動かない場合がありますが、異常ではありません。



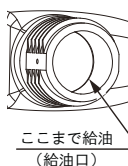
■チェーンオイルについて

- ・チェーンオイルはスイッチを入れるとソーチェーン、ガイドバーに自動的に給油されます。
- ・作業条件によりますが、稼働時間 15 分を目安にチェーンオイルを補充してください。作業中も時々オイル点検窓にてオイルタンク内のチェーンオイルの量を確認し、オイル点検窓からオイルが見えなくなりましたら、補充してください。
- ・チェーンオイルの補充は、給油口のオイルキャップを取外して行ないます。



オイルタンクの容量は約 42mL です。

チェーンオイルの入れすぎに注意してください。給油口から溢れ出てしまいます。



- ・チェーンオイルは別販売品のチェーンオイルまたは市販のチェーンオイルを使用してください。



- ・オイルタンク、チェーンオイルにゴミなどが入らないように気をつけてください。ゴミなどの異物が入ると、故障の原因になります。
- ・オイルの種類によっては、プラスチック製の部品に悪影響をおよぼすことがあります。必ず、指定のオイルをご使用ください。

使い方

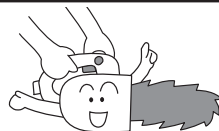
■切断作業

⚠ 警 告



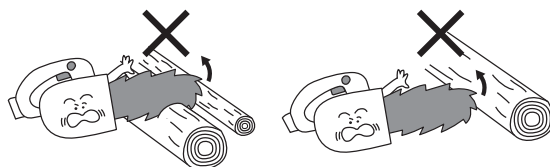
必ず守る

- ・使用中は両手で確実にハンドルを保持してください。本体がはね返り、けがの原因となります。



必ず守る

- ・ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。本体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。



必ず守る

- ・使用中は、ソーチェン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。



回転部注意



禁止

- ・使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。

⚠ 注 意



点検・確認

- ・スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。



必ず守る

- ・切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。けがの原因になります。



必ず守る

- ・切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。ガイドバーがはさみつけられるとけがの原因になります。

注意



必ず守る

- ・保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。
 - ・そで口をきちんと閉めた作業服、チェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）を着用。
 - ・ヘルメットまたは規格に適合した帽子を着用。
 - ・足元保護のために滑りにくい安全靴。
 - ・保護めがねまたはフェイスガード。
 - ・巻込まれにくい防振性の高い手袋。耳栓、イヤマフなどの防音保護具着用。

※ 労働安全衛生規則が改正され、2019年8月1日以降、業務でチェンソーを使用する作業者は、チェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）の着用が義務付けられています。



回転部注意

- ・使用中、ソーチェンが別の材料や他のものに触れないように注意してください。とくに、切り終わりのとき、地面に接触しないように注意してください。



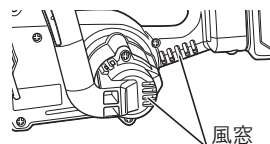
禁止

- ・本体を作動させたまま地面、床などに放置しないでください。けがの原因になります。



必ず守る

- ・作業中は、風窓を地面に近づけないでください。また、スイッチを切った後はソーチェンが完全に止まってから地面に置いてください。風窓から砂などを吸込んで故障の原因になります。
- ・風窓部に木屑などが詰まっていると故障の原因になります。こまめに清掃してください。



必ず守る

- ・切断を行なう前にソーチェンの張り具合および、チェンオイルが出ているか確認してください。
- ・チェンオイルが飛散しますので、作業に適した服装を着用してください。
- ・無理に押しつけたり、切断中にこじたりしますと機械各部の故障の原因になります。無理なく、まっすぐに切断してください。
- ・推奨切断長さは、150mm 以下です。推奨長さを超えた材料を切断すると、過負荷の原因になります。

使い方

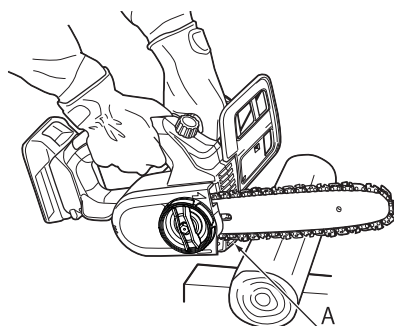
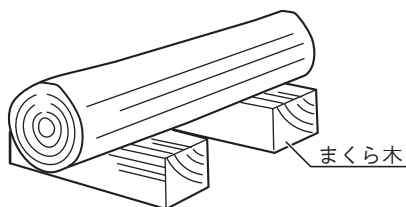
●切り方の基本

1. 切断材の下にまくら木を敷き、地面から出来るだけ離して固定してください。



必ず守る

地面に近すぎますと、切断後地面にソーチェンが当たり、ソーチェンを傷付けたり、小石などをはね上げるだけでなく、チェンソー本体がはね返る（キックバック）こともあり危険です。

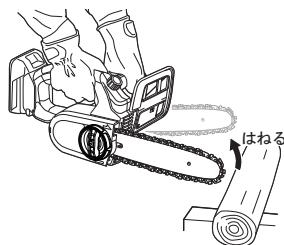


2. スイッチを入れてソーチェンのスピードを上げた後、ガイドバーのつけ根付近（右図 A 部分）を切断材に静かに当ててください。

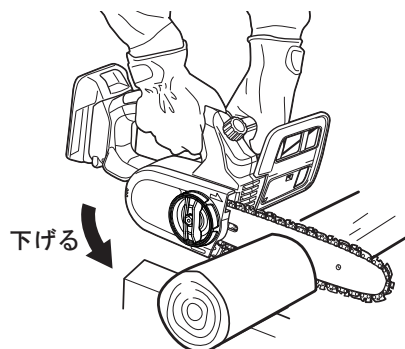
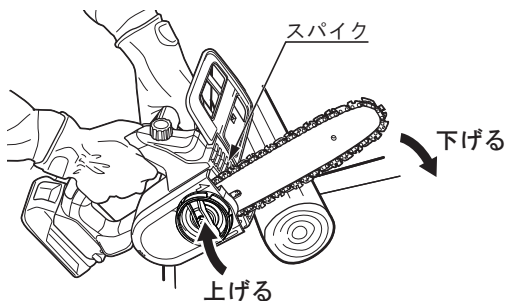


必ず守る

- ・ ガイドバーの先端部での先端切りは、本体がはね返り（キックバック）、安定した作業ができませんので危険です。必ずガイドバーのつけ根部分で切断してください。
- ・ 無理に押し付けて切断した場合、刃物が止まることがありますので注意してください。



3. 大きい材料の場合は、スパイクを切断する材料に当て、そこを支点にテコ運動をしながら切断してください。



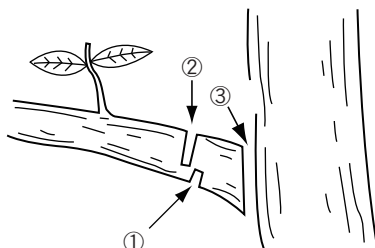
●枝落とし

⚠ 注 意



落ちてくる枝から、安全に避難できるように注意してください。
小枝を切るときは、本体がはね返ることがありますので注意してください。

1. 太い枝は、まずつけ根から少し離れたところを切り落とします。
①下側から3分の1くらい切込み、②上側から切り落とします。
2. 最後に残りの部分を③つけ根から切落としてください。



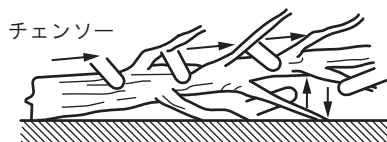
●枝払い作業

⚠ 注 意

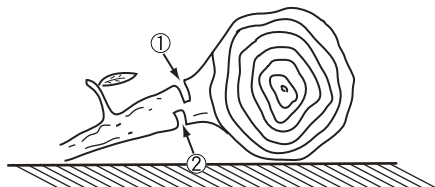


地面に当たっている枝は、丸太の重量を受けているので切るときにガイドバーを挟まないように注意してください。また、切り終わりに丸太がごろがることもあるので注意してください。

1. 上部、側面の枝を一方向より切落とします。
2. 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切落とします。



3. 地面に接触している太い枝は、①上側から半分くらい切込み、②下側から切込み、枝を落とします。



使い方

●伐木作業（樹木を伐り倒す作業）

⚠ 警 告



点検・確認

伐木作業を行なうときは、木の倒れる方向に人や物がいないことを確認してから作業を行なってください。



必ず守る

伐木作業を行なうときは、必ず二人以上で作業を行なってください。



必ず守る

（事業者の方へ）樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行なう場合は法、規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令	労働安全衛生法	第 59 条第 3 項
	安全衛生特別教育規程	第 10 条
	労働安全衛生規則	第 36 条第 8 号

1. 伐り倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考慮し、倒す方向、避難する方向を決めます。

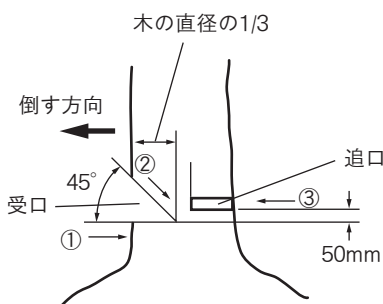
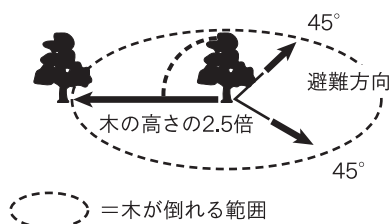
2. 伐り倒す木の周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。伐り倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。

3. 図に示すように伐り倒す方向に直径の 1/3 程度の切込みを①、②の順に入れて受口を作ってください。

4. 受口の水平部より約 50mm 上部に、受口の水平部と平行に追口③を切込んでください。

5. 追口の切込みが樹心を越えすと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。

6. 木が所定の方向に倒れそうもない場合やソーチェン、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正し、挟まれたソーチェン、ガイドバーを取り除いてください。



■本体が動かなくなったときには（保護回路作動 / 電池切れ）

⚠ 警 告



必ず守る

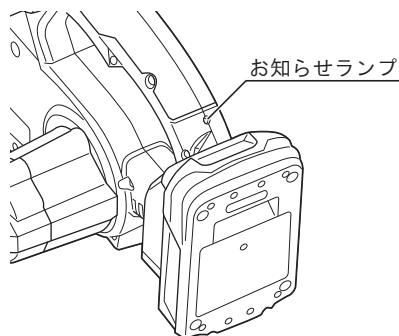
- ガイドバー一部が切断材などに食い込んだり、小枝を巻込んだときは、必ずスイッチを切り、本体から電池パックを外した後、切断材から本機を離したり、異物を取除いてください。不意な始動による、けがの原因になります。

⚠ 注 意



必ず守る

- ソーチェンに巻付いた異物を取除くときは、手袋、ウエスなどで手を保護してから行ってください。けがの原因になります。



- 本機には本体の保護および電池寿命を保つため保護回路を搭載しており、保護回路が働いているときは動きません。また電池切れの場合も動きません。

本体が動かないときは、スイッチを入れ「お知らせランプ」の点灯状態を確認のうえ、下表を参考に原因を取除いてください。

本体が動かなくなった					
症状	スイッチを入れても動かない				
お知らせランプ	点灯しない	点滅→消灯			
原因	電池パックがきちんと取付けられていない	電池切れ ※	ソーチェンに異物が巻付いている	電池パックの温度が高い	スイッチを切った直後に再度スイッチを入れている
処置	電池パックをきちんと取付ける	充電する	電池パックを外して異物を取除く	電池パックを常温まで冷ます	スイッチを切ってから、5秒程経過した後に再度、スイッチを入れる
処置後も異常がある場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお持ちください					

※ 電池切れに近づくとお知らせランプが点灯し（この時は本体は動いている）、電池切れで本体が止まり点滅・消灯します。

保守と点検

警告



必ず守る



分解禁止

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。けがの原因になります。
- ・絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

ソーチェンの目立て

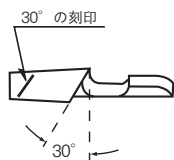
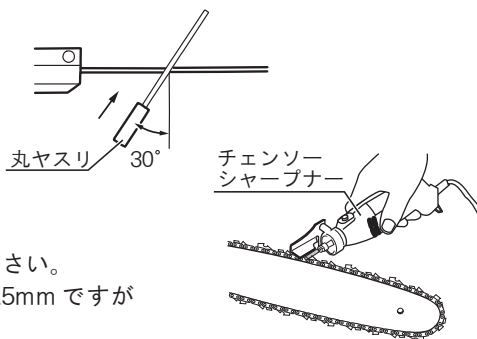
- ・目立ては自分でできます。

別販売品の丸ヤスリまたはチェンソーシャープナーで左刃・右刃の角度に注意し、目立てをしてください。(右図)

仕上げ角度は、下図のようにするのが理想的です。

30°の刻印を目安に目立てを行なってください。

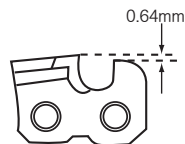
※ソーチェンメーカーの推奨は、丸ヤスリ 4.5mm ですが 4mm を使用しても問題ありません。



上刃目立て角度



上刃切削角度



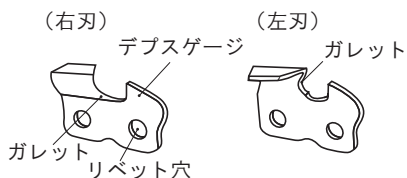
デブスゲージセッティング

(チェンソーシャープナー使用方法)

- ・目立てをするソーチェンの種類、条件を確認してください。

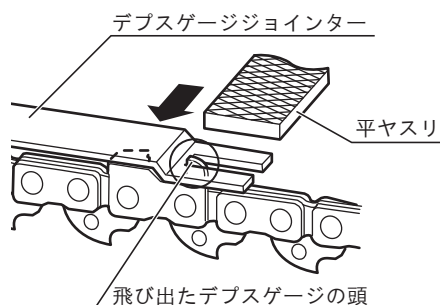
1. 軸付砥石を刃先のガレット部にはめこみます。
2. ガイドを目立てをする刃の上ののせ、ガイドに印された上刃目立て角度 (30°) をチェンソーのガイドバーと平行になるように位置合わせをします。

※ 詳しい使い方はチェンソーシャープナーの取扱説明書をお読みください。



(デプスゲージジョインター)

- ・デプスゲージジョインターをソーチェンの上にかぶせます。デプスゲージが高すぎる場合には溝からデプスゲージの頭が出ます。溝から出ている部分を平ヤスリで削り落とし、適切なデプスゲージ高さに調整します。



■ソーチェンの交換

⚠ 警 告



必ず守る

- ・ソーチェンの交換のときは、スイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。



よく読む

- ・ソーチェンは取扱説明書に従って正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、ガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。



必ず守る

- ・ソーチェンは仕様に明記してあるタイプの純正品を使用してください。誤ったタイプを取付けるとガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

⚠ 注 意



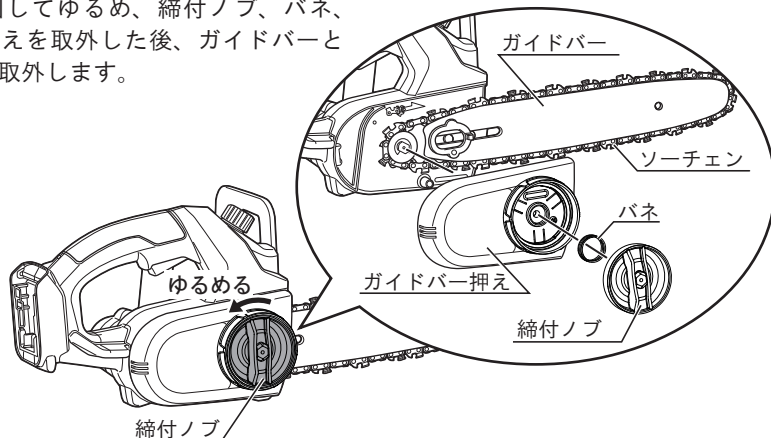
必ず守る

- ・ソーチェンの交換のときは、必ず手袋をはめて行なってください。けがの原因になります。

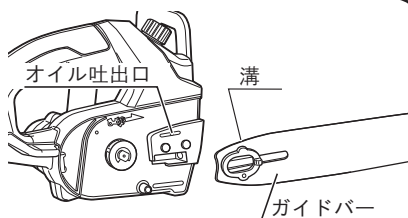
保守と点検

(ソーチェンの取外し)

- ・ 締付ノブを回してゆるめ、締付ノブ、バネ、ガイドバー押えを取外した後、ガイドバーとソーチェンを取外します。



ソーチェンの取外しの際には、オイル吐出口、ガイドバーの溝およびその周辺の切粉を取除いてください。切粉などが溜まるとオイルが回らなくなり、故障の原因になります。

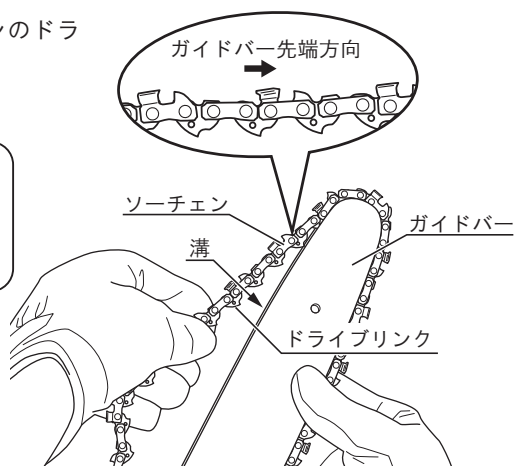


(ソーチェンの取付け)

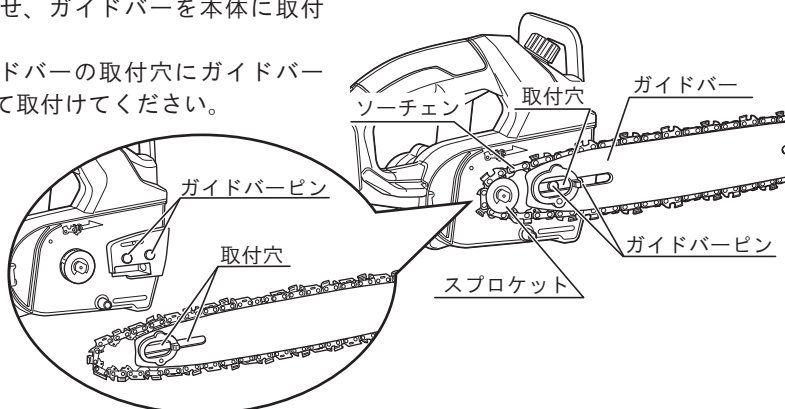
1. ガイドバーの溝にそって、ソーチェンのドライプリングをはめ込みます。



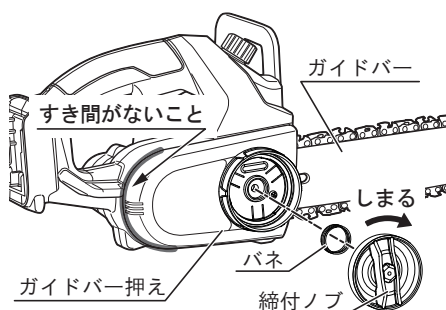
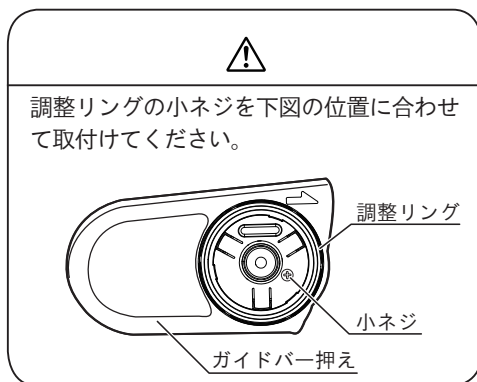
ソーチェンの刃の向きに注意してください。逆に付けると切断できません。



2. ソーチェン（ドライプリング）をスプロケットにかみ合わせ、ガイドバーを本体に取付けます。
 その際、ガイドバーの取付穴にガイドバーピンを合わせて取付けてください。



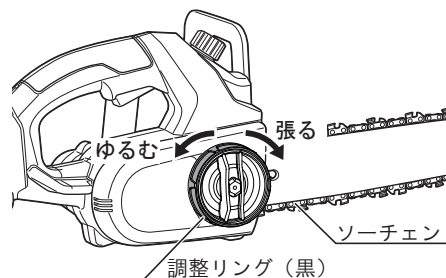
3. ガイドバーを押えた状態でガイドバー押えを取付け、締付ノブ（バネ）で軽く締付けてください。（ガイドバーがガイドバーピンから外れず、動く程度）



本体とガイドバー押えの間にすき間がないことを確認してください。

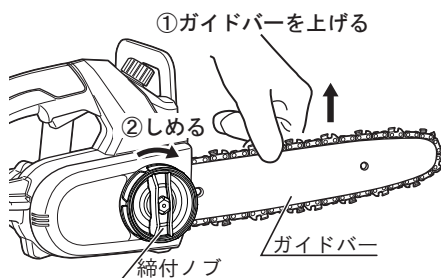
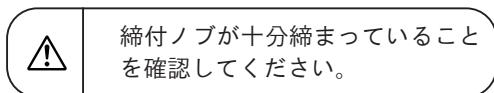
4. ソーチェンの張り調整をします。
 調整リングを回して調整してください。

調整方法は26～27ページ『■ソーチェンの張り調整』を参照ください。



保守と点検

5. ソーチェーンの張り調整が終わりましたら、ガイドバーを上を持ち上げながら、締付ノブを十分に締付けてください。



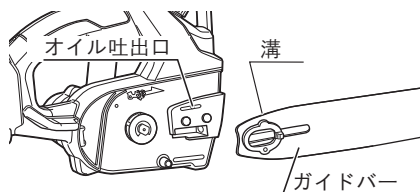
■各部取付けネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

●ガイドバーの清掃

- ガイドバーの溝やオイルの出る穴に切粉などが詰まると、オイルが回らなくなり故障の原因になります。使用後およびソーチェーンの交換時などにはガイドバーを取外し、溝などに入った切粉を取除いてください。



●ソーチェーンの給油

- 使用後はサビ止めのため、ソーチェーンを回転させ、チェーンオイルを十分まわしておいてください。

●表面の汚れの清掃

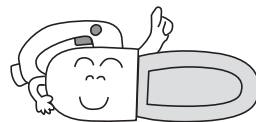
- 油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

●風窓部の清掃

- 風窓部に詰まっている木屑などを取除いてください。

■作業後の保管

- 作業後は、ソーチェンがむき出しにならないようにチェンカバーを取付けてください。
- 使用後にソーチェン、ガイドバーに付着したチェンオイルや本体内部のチェンオイルが流れ落ちることがあります。
ビニールを敷くなどして周囲を汚さないように注意してください。
- オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、オイルキャップが上側になるように本機を置いて保管してください。横にして保管した場合、オイルが漏れます。
- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。
- 電池パックを長期間保管する場合は下記のことに注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電にして保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管はしないこと。
 - d. -20℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。



■修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

	症状	原因	処置	参照 ページ
充 電 器	充電できない	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。	21
		電池パックが充電器に確実にさし込まれていますか。	電池パックを奥まで確実にさし込んでください。	21
		電池パックまたは充電器の充電端子が汚れていませんか。	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		電池パックが高温になっていませんか。	電池パックを十分冷ましてから充電してください。	22
	充電開始後、3時間くらい経過しても充電完了ランプが点灯しない	電池寿命または電池パック、充電器の故障と考えられます。	22 ページ「充電器ランプ表示」の項目を確認してください。 故障が考えられる場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	22
本 体	動かない	電池パックが確実に取付てありますか。	電池パックを取外して、工具の電池取付け部分に異物が混入していないか確認してください。また、電池パック端子部に汚れなどが付着していないか確認してください。電池パックは奥まで確実にさし込んでください。	25
		ソーチェンの張りがきつありませんか	ソーチェンの張り具合を確認し、きつい場合は、張りをゆるめてください。	26～27
		ソーチェンからスプロケットが外れていませんか	ガイドバー押えを取外して、スプロケットにソーチェンのドライプリングをはめてください。	18～19 36～39

	症状	原因	処置	参照 ページ
本 体	動かない	保護回路が作動していると考えられます。	スイッチを入れた時に「お知らせランプ」が点灯する場合は、34 ページの表を参考に原因を取除いてください。	34
		ガイドバー押え内に切粉が詰まっていますか ガイドバーの溝に切粉が詰まっていますか	ガイドバー押えを取外して、ガイドバー押え内を清掃してください ガイドバーの溝を清掃してください。	39
		過負荷状態になっていませんか。	過負荷状態になるとモーター保護回路が働き、モーターが停止する場合があります。スイッチを切り、電池パックを取外してから過負荷の原因を取除いてください。	34
	切れ味が悪い	ソーチェンが摩耗、刃こぼれしていませんか	ソーチェンの目立てを行なってください。 摩耗、刃こぼれがひどいときは、新しいソーチェンと交換してください。	35～36 36～39
		ソーチェンの向きが逆になっていませんか	ソーチェンの向きを確認し、正しい向きに付け直してください。	18～19 36～39
		ソーチェンの張りがゆるくなっていますか。	ソーチェンの張りを確認して、ゆるい場合には張りを強くしてください。	26～27
	チェーンオイルが出ない	オイルタンク内のチェーンオイルが少なくなっていますか。	チェーンオイルの残量を確認し、補充してください。	28
		チェーンオイル吐出口が詰まっていますか。	ガイドバーを取外し、オイル吐出口を清掃してください。	39

※ これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

NOTE

NOTE

NOTE

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

QRコードまたはURLからご確認ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ



0570-666-787

受付時間：

月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、QRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から
下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束する
ものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名 BCS-1800		製造番号（表示位置は「■各部の名称」をご確認ください）	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
		電話 ()	
お買い上げ日 年 月 日		保証期間（お買い上げ日より） 6ヶ月	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号		

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって
お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い
上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にされない場合には、京セラインダストリアル
ツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦傷キズなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換え
られた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(o) 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる
損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

